

■ 操作方法

- ・ 質問に回答し、下方にある「次へ」ボタンを選択して解説ページに進んでください
- ・ 解説ページの、下方にある「次へ」ボタンを選択して順次学習を進めてください
- ・ 最終ページでは「完了」ボタンを選択して終了し、ページを閉じてください

■ 問題は5問です

- 問1：「情報」交換について
- 問2：「情報」保管について
- 問3：「情報」取扱いについて
- 問4：作業所の情報セキュリティ対策について
- 問5：私有情報機器の取り扱いについて

問1：「情報」交換について

*関係者に図面やデータを渡す場合に正しい対応はどれですか

- 1．関係者には直接に利用しない図面も含めて渡す
- 2．重要なデータを渡す際に暗号化せずに渡す
- 3．渡す情報は必要最小限に留める

問1：解説

正解：3. 渡す情報は必要最小限に留める

社内・社外を問わず、コピー、FAX、郵便物、電子メールを使用する場合は、内容、相手先、部数を再確認して、必要最小限にとどめる必要があります。

誤り：1. 関係者には直接に利用しない図面も含めて渡す

工事に関する図面等は、関係者が担当する部分に留めて下さい。社外とデータの受け渡しをする場合は、第三者によるアクセスや盗難等の脅威があることを認識してください。

誤り：2. 重要なデータを渡す際に暗号化せずに渡す

USBメモリ等の外部記憶媒体でデータの受け渡しをする場合は、暗号化等のセキュリティ機能付きの機器を使用して下さい。

問2：「情報」保管について

*情報の保管について、間違った対応はどれですか

- 1．情報および情報機器の保管に関する会社のルールを定め、遵守する
- 2．元請会社や取引先から預かった情報は管理台帳等に記載のうえ、厳重に管理する
- 3．業務が終了した後も、参照する可能性のある情報はパソコンの中に保存していつでも参照できるようにしている

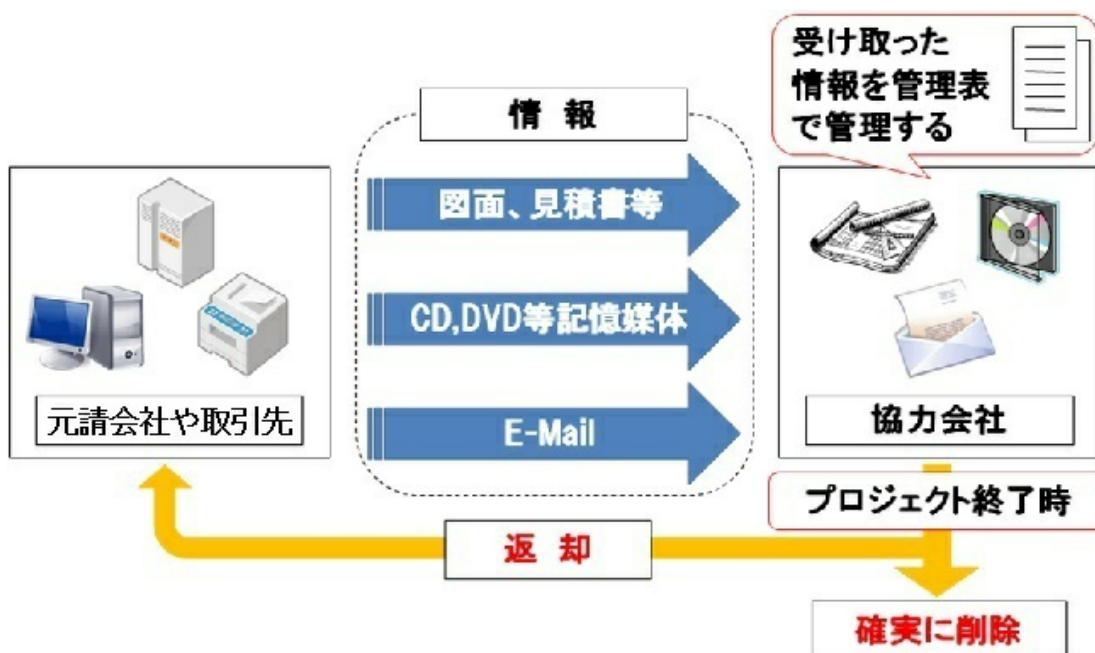
問2：解説

正解：3が間違いです

業務が終了した後も、参照する可能性のある情報はパソコンの中に保存していつでも参照できるようにしている

情報の保管として間違った対応です。業務が終了した時点で、元請会社や取引先から預かった情報は必ず返却、または、読めないようにした上で廃棄しなくてはなりません。

- ：1．情報および情報機器の保管に関する会社のルールを定め、遵守する
- ：2．元請会社や取引先から預かった情報は管理台帳等に記載のうえ、厳重に管理する
- ✖：3．業務が終了した後も、参照する可能性のある情報はパソコンの中に保存していつでも参照できるようにしている



問3：「情報」取扱いについて

*情報の取扱いについて、次のうち正しい行動はどれですか

- 1．自社の施工実績としてホームページに工事写真を掲載することになったので、発注者や元請に掲載してよいか確認した
- 2．仲間内で情報交換するために、今日はこのような仕事をしましたと工事現場の写真をFacebookに掲載した
- 3．工事終了後は、工事に関するデータを削除することになっていたが、今後の参考になると思い自分のパソコンにコピーした

問3：解説

正解：1．自社の施工実績としてホームページに工事写真を掲載することになったので、発注者や元請に掲載してよいか確認した

工事に関する情報(建物の外観を含めて)の所有権は、発注者にあります。必ず、発注者や元請に相談して、許可を受けてください

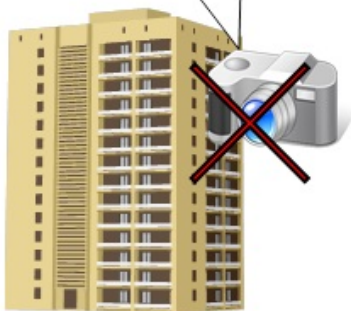
誤り：2．仲間内で情報交換するために、今日はこのような仕事をしましたと工事現場の写真をFacebookに掲載した

工事に関する情報(写真・動画も含む)をFacebook等SNSに書き込んではいけません。

誤り：3．工事終了後は、工事に関するデータを削除することになっていたが、今後の参考になると思い自分のパソコンにコピーした

工事に関する情報は目的外の使用はできません。たとえ今後の参考のための個人利用であっても契約違反となります。どうしても必要な場合は、得意先に相談して、許可をもらってください。

建物内部や
工事状況の写真を
無断で撮らない。



工事に関する情報を
(写真も含む)
-Twitter
-Facebook
に書き込まない。



工事に関する情報を
-公の場で話さない。
-第三者に話さない。

問4：作業所の情報セキュリティ対策について

* 作業所の情報セキュリティ対策として正しいものはどれですか

- 1．情報セキュリティを考慮して、日建連発行のガイドラインをもとに対策をとっている
- 2．作業員名簿のデータは新しいPCに保存しているので、バックアップはとっていない
- 3．情報共有が必要なため事務所のネットワークを構築することになったが、特別な指示は出さずに設定は業者に任せた

問4：解説

正解：1．情報セキュリティを考慮して、日建連発行のガイドラインをもとに対策をとっている

作業所の情報セキュリティ対策は、情報の適切な保管や取扱いの施策やルールを定め、関係者全員に守らせることです。日建連発行のガイドライン等を参考にして、情報セキュリティ対策を講じてください。

誤り：2．作業員名簿のデータは新しいPCに保存しているので、バックアップはとっていない

重要情報については、機器の故障や誤操作、紛失等によって消失しないように、必ずバックアップ等の対策を行って下さい。また、作業員名簿等の個人情報、個人情報保護法に基づき、情報の適正な取扱いを確保するための対策を実施しなくてはなりません。

誤り：3．情報共有が必要なため事務所のネットワークを構築することになったが、特別な指示は出さずに設定は業者に任せた

作業所のネットワークの構築にあたっては、日建連発行の「建設現場ネットワークの構築と運用ガイドライン」に準拠して構築してください。

問5：私有情報機器の取扱いについて

* 私有情報機器の取り扱いとして正しいのはどれですか

- 1．同僚に業務データを渡すために私有のUSBメモリを使用する
- 2．私有のスマートフォンから業務関連情報のメールを送信する
- 3．自宅のパソコンに業務データを保管しない

問5：解説

正解：3．自宅のパソコンに業務データを保管しない

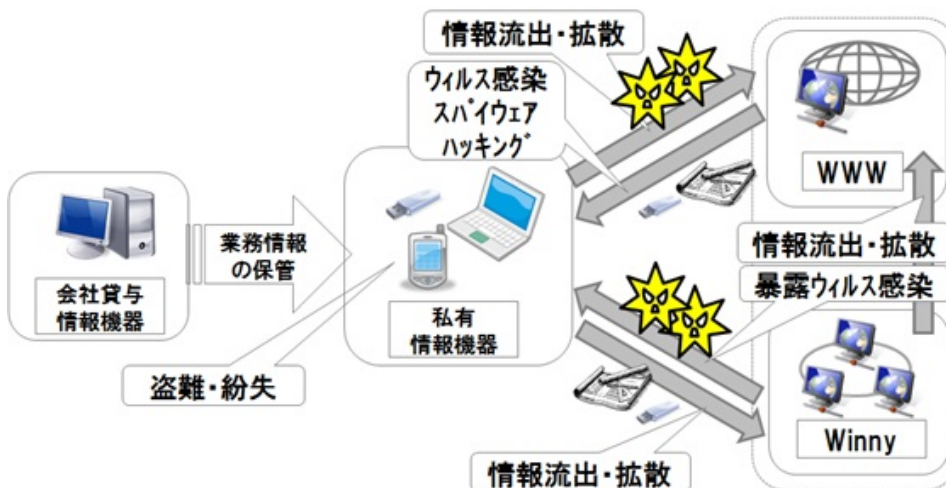
自宅のパソコンなど私有情報機器利用は、セキュリティ対策が不十分となりがちで、情報漏えいする危険性を拡大させます。業務データは保管しないでください。

誤り：1．同僚に業務データを渡すために私有のUSBメモリを使用する

私有のUSBメモリは、業務データをコピーしたまま私用のために持ち出すなど、情報漏えいにつながる危険が大きくなります。会社で管理されていないUSBメモリは使用しないでください。

誤り：2．私有のスマートフォンから業務関連情報のメールを送信する

スマートフォンは、パソコンと同様のセキュリティ対策が必要です。私有のスマートフォンは業務に使用しないでください。



お疲れ様でした。パソコンを安全に活用しましょう。